



CITIZEN'S PLAZA

# 市民のひろば

市民の皆さんからの投稿作品をご紹介します！



[投稿者]

環境ボランティア  
サークル  
亀の子隊

☎090-9123-7983

## 田原市民まつりで南三陸町チャリティ物産展

東日本大震災から7年半がたちます。多くの被災地では復旧・復興が進んできているようですが、甚大な被害を受けた宮城県南三陸町では、仮設で運営されていた「さんさん商店街」が、盛り土をされた市街地の中心へ昨年3月に移転し、本格的な営業を始めたところです。

亀の子隊は、震災が起きた平成23年から昨年まで、夏休みと冬休みに、市内の農家の皆さんから提供してもらった野菜を持って支援活動に行きました。

1年目の夏に行ったときの、何も無い町の惨状は今も目に焼き付いています。ボランティアセンターの手伝いで、支援米配布活動のときに出会った初老の女性は、車に犬を乗せていました。「犬しか残らなかったんだ」という言葉に涙が出ました。

3年目の夏、仮設住宅でお話を聞かせてもらいました。「私たちは今闘っている」と涙を流しながらお話をしてくれる表情は非常に辛そうでした。それでも、現実を明るく受け止めようとしている姿を見て、人間の強さを感じました。

4・5年目、仮設住宅の皆さんの表情が明るくなっていきました。それでもまだ、仮設住宅には多くの方が生活していました。その仮設住宅も昨年6月には撤去されました。現在は、復興住宅に移ったり、高台にできた住宅地に新築をしたりして、生活しているようです。

町は、少しずつ復旧し、盛り土された港前の土地には商店や事業所などが増えつつあります。しかし、まだまだ就業人口が増えていないという実態があります。津波被害で就業場所がなくなり、労働人口が激減したのです。昨年度、支援活動に行った入谷地区にある「恩送りファーム 南三陸農工房」では、ブドウ畑を新たに作り、「数年後には就業場所としてワイナリーを始めたい」と言っていました。

亀の子隊は、南三陸応援団に登録し、平成26年から田原市民まつりでチャリティ物産展を行っています。南三陸町の社会福祉協議会を通して、いくつかの事業所から加工食品を買い取り、田原市民まつりで販売します。東北の美味しい特産品をぜひ、皆さんに食べていただきたいです。皆さんのお越しをお待ちしております。



▲平成23年8月の第1弾東北支援活動で訪れた南三陸町



▲平成27年8月に仮設住宅へお邪魔して、お話を伺いました



▲田原市民まつりでのチャリティ物産展の様子